

# 「大切なこと 人から人へ。」

住友の歴史の始まりから、400年を経て現在まで受け継がれる事業精神のもと、グループ各社は活動を続けています。

住友グループ広報委員会は、その事業精神に通じる「大切なこと 人から人へ」というグループメッセージのもと、様々な活動を行っています。

時代の移り変わりや、震災後の社会・人々に起きた大きな変化の中で、未来に残していきたい、創っていききたい「大切なこと」を社会と共に考え、行動しています。

## 一筆啓上賞～日本一短い手紙コンクール 特別後援

福井県坂井市丸岡町、この北陸の小さな城下町を一躍有名にした町おこし事業「一筆啓上賞 日本一短い手紙コンクール」を住友グループは特別後援しています。このコンクールは簡潔で要を得た手紙として有名な「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」にちなんでいます。この手紙は徳川家康の家臣・本多重次が陣中から妻に宛てて送ったもので、「お仙」は成長し

たのち、丸岡城主・本多成重となります。住友グループ広報委員会では、グループメッセージ「大切なこと 人から人へ」の精神にかなう催しであること、また丸岡町が住友家初代住友政友の出身地で、ゆかりが深いことなどからこのコンクールを平成6年(1994年)から後援しています。



## インターカレッジ・ネゴシエーション・コンペティション 特別後援

インターカレッジ・ネゴシエーション・コンペティションは、毎年1回、2日間にわたって行われる仲裁・交渉の大学対抗戦です。大会には日本語の部と英語の部があり、英語の部では書面の作成から口頭でのやりとりまで、全て英語で行われます。住友グループ広

報委員会は、インターカレッジ・ネゴシエーション・コンペティションを通じて、大学生の交渉教育を応援し、真の国際的な人材育成に寄与したいと考え、平成14年(2002年)から後援しています。



## 全国盲学校弁論大会 特別協賛

住友グループ広報委員会は「全国盲学校弁論大会」を応援しています。この大会は、昭和3年(1928年)に毎日新聞社点字毎日の主催で開催されて以来、歴史を刻み続けた伝統ある大会です。「自分の心を自分の言葉

で伝えていく」本大会の主旨は私たちのグループ・メッセージである「大切なこと 人から人へ」の精神にまさに重なるものであることから、平成15年(2003年)から特別協賛しています。

